

# 第 190 回 競技委員会 議事録

1. 日 時：2008 年 2 月 20 日（水）18 時 00 分～20 時 30 分
2. 会 場：連盟本部事務局
3. 出席委員：平田委員長、清水、古田、斉藤、田中、寺本、西田、仲村  
以下委任状：林、佐々部、山菅  
オブザーバー：大政  
委員総数 11、定足数 8、出席 11（内委任状 3）で成立
4. 議事の経過及び結果：平田委員長を議長に議事を逐一審議した。
5.
  - 第 1 号議案 新年リジョナルと日本リーグのミスに関して  
○担当ディレクターの仲村篤志から文書の報告があり今後の対応策等が了承された。
  - 第 2 号議案 見物人に関する規定の作成について  
○事務局作成の原案が了承された。  
○JCBL の主催のナショナルゲームにおいては、チームメイトの見物を認めない旨試合要項に記載することで合意した。
  - 第 3 号議案 試合要項の見直し  
○田中委員より修正案が提出され了承された。  
○HANDBOOK に原則フライト A の希望を認めるが運営の都合上断ることがあることを明記することとした。  
○高松宮記念杯および文部科学大臣杯においては他チームの名簿に一度でも所属したメンバーの追加を認めない旨記載することで合意した。
  - 第 4 号議案 議事録の矛盾に関して  
○第 150 回議事録と第 185 回議事録において SRR & ペア形式のオープンチャンスの開催に関して矛盾があることが確認された。第 185 回議事録の決定が現在は有効であり、開催要望があれば改めて審議することに決定した。
  - 第 5 号議案 高田馬場の IMP の SP オーバーに関して  
○調査の結果制限 SP オーバーしているチームが参加していることが確認され。高田馬場 BC から前期 IMP および今期開催中のゲームに関して制限を超えたチームの報告が提出された。  
○過去 1 年にさかのぼって該当チームの入賞を取り消し順位を繰り上げることに決定した。高田馬場 BC には 2006 年度冬季 IMP について同様の報告を求めることとした。
  - 第 6 号議案 伊藤一氏の意見に関して  
○ビディングボックス使用時に最後のパスを出さない人がいるので指導すべきという意見に対して、あらためて HAND BOOK にその旨記載を追加することとした。  
○事務局からはクラブ更新の案内でビディングボックス使用方法の変更に関する記述に、最後のパスについても記述を追加したことが報告された。
  - 第 7 号議案 上告規則小委員会報告  
○小委員会作成案を一部変更の上了承した。
  - 第 8 号議案 新規則に関して  
○スケジュール通り進行しているが第 27 条 C 項に関して WBF から変更の通知がありそれによっては出版のスケジュールに遅れがでる可能性が報告された。  
○HAND BOOK の見直し作業が必要であり、次回委員会で検討することとした。原案を事務局で作成次第委員に配布することとした。
  - 第 9 号議案 その他議案  
○下記のセクショナルディレクターを承認した。  
武村 光隆 90900 C-00194  
推薦人 林 伸之 121279 S-00098

次回競技委員会は 3 月 12 日（水）18 時 00 分から開催する。

以 上